愛媛県立農業大学校総合農学科 推薦入学試験
過去の小論文課題

入学年度 (実施年度)	課 題
令和7 (令和6)	<p>食料・農業・農村をめぐる内外の情勢は大きく変化しており、特にロシアによるウクライナ侵略等により生産・供給は不安定化し、輸入依存度の高い日本の食料供給に影響を及ぼしています。</p> <p>このような中、日本の農林水産物・食品の2023年輸出額は、前年に比べ2.9%増加し、1兆4,547億円となり過去最高を更新しており、政府は2025年までに2兆円、2030年までに5兆円とする目標を掲げています。</p> <p>本県において、2023年度の県産かんきつ輸出は過去最高の169t、1億1,828万円となっており、本校でも2023年12月に初めて温州みかんをベトナムへ初輸出するなど輸出への関心が高まっています。</p> <p>そこで、あなたが本校に入学したら、輸出等含め、農産物の販路拡大に向け、どのようなことを学びたいですか。</p> <p>また、愛媛県の農業を盛り上げるために、どのような取り組みが必要か、あなたの将来の目標を含めて考えを述べなさい。(600字～800字以内)</p>
令和6 (令和5)	<p>1965年度(昭和40年度)に73%あった食料自給率(カロリーベース)は、2022年度(令和4年度)には38%と長期的に低下し、13年連続40%以下の低水準で推移しています。</p> <p>この主な要因として、国内で自給できるお米の消費量が半分以下に減少する一方で、自給率の低い油脂類や肉類、乳製品の消費量の増加といった「日本人の食生活の変化」があります。</p> <p>政府は2030年度(令和12年度)に食料自給率をカロリーベースで45%とする目標を掲げていますが、目標との差は大きく達成は見通せていません。</p> <p>そこで、日本の食料自給率を上げるためにどのような取り組みが必要か、あなたの考えを述べなさい。(600字～800字以内)</p>
令和5 (令和4)	<p>あなたの住んでいる地域の主要な農畜産物をひとつ取り上げ、その生産性を高めるためにどのような技術を活用するか説明しなさい。</p> <p>あわせて、その農畜産物の需要拡大を図るために、どの様にブランド化しPRするか、あなたの考えを述べなさい。(600字～800字以内)</p> <p>※生産性とは、労働・設備・原材料などの投入量と、これによって作り出される生産物の産出量の比率のこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働生産性：産出額／労働日数 ・土地生産性：産出額／作物面積 ・資本生産性：産出額／投入金額